



西淀川区はクジラの形をしているよ

●発行/NPO法人 にしよど にこネット

●協力/西淀川区子ども・子育て支援連絡会

声かけは親子の
大切なやり取り

困った時の関わり方を変えてみよう



▲これらは全部、抽象的な言葉なので、子どもは何をどうしたらいいのかわからないのです。

例えば、子育てをしていると必ず遭遇するこんな場面・・・子どもの心に届く**伝え方**をしてみませんか

おもちゃを
出しっぱなし
ちらかしっぱなし



「早く片付けなさい!」
「いつもいつもちらかして!」
「もう全部捨てるよ!」



「このおもちゃはこの箱に入れようね」
「上手にできるかな?」
「ママと一緒にやってみようね」

★おもちゃ箱に入れるものの絵や
写真を貼っておくとわかりやすいよ



ダダをこねる
ぐずる
イヤだイヤだ～!



「いいかげんにしなさい!」
「ママもう知らない!」
「勝手にしなさい!」



「〇〇ちゃん、何がイヤなのかママに教えてくれる?」
「ママは〇〇してほしいな」
「そうか～〇〇がイヤだったのね」

★子どもが落ち着くまで
静かな場所で待つのもポイント



食事時に食べない
うろうろしたり
遊ぼうとする



「何してるの!」
「ちゃんとしなさい!」
「食べもので遊ばないで!」

「ごはんはこうやって食べようね」
大人が食べて
「おいしいよ、食べてみる?」
「食べ終わったらデザート食べようね」



騒ぐ
走り回る



「ダメーッ!」
「うるさーい!静かにしなさい!」
「やめなさい!」



「ここは危ないから走らないよ」
「大事なお話をしているから静かにしてね」
「ここに座って少しだけ待ってね」



出かける準備ができない
ダラダラしている
遊びが切り上げられない

「早くしなさい!もう行くよ!」
「もうおしまいって言ってるでしょう!」
「いい加減にしなさい!」

「あと10分したらお出かけするよ」
「次やることは何かな?」
「あと1回でおわるうね」

POINT



注意・否定・命令ではなく
「実際にしてほしいこと」
「こうすればいいかも」
を具体的に伝えましょう



ちょこっとヒント

近づいて・穏やかに・静かに
言うのがポイントだよ(^-^)/

